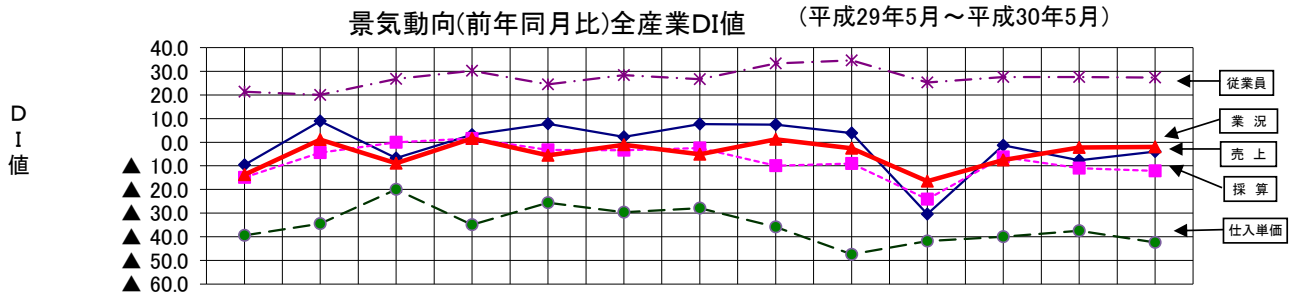


# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 5月分

## 【5月の概要】 景況感はやや改善の動き、先行きは依然として慎重な見通し

4月に比べると、売上DI、業況DIのマイナス幅はやや減少している一方、採算DIと仕入単価DIのマイナス幅はやや増加している。従業員DIのプラス幅はほぼ変化なし。幅広い業種で仕入コスト増の影響が出ており、採算面の改善は厳しい状況である。建設業では活況との声も聞かれるが、全体的な景況感は依然として横ばいの動きとなっている。

先行きについては、4月に比べ、売上DI、業況DIのプラス幅は増加し、仕入単価DIのマイナス幅がやや増加しているものの、採算DIはマイナスからプラスに転じている。従業員DIのプラス幅はやや増加した。全体的に景況回復基調の動きが横ばいの状況で仕入コスト増と人手不足感は続いている。改善の期待感も込められていると推察されるが、売上、採算、業況ともに改善の見通し。



|        | 平成29年5月 | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 平成30年5月 |
|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| ◆ 売上   | ▲ 9.6   | ▲ 8.9  | ▲ 6.7  | ▲ 3.2  | ▲ 7.8  | ▲ 2.3  | ▲ 7.6  | ▲ 7.4  | ▲ 3.9  | ▲ 30.4 | ▲ 1.3  | ▲ 7.7  | ▲ 4.0   |
| ■ 採算   | ▲ 14.9  | ▲ 4.4  | 0.0    | ▲ 1.6  | ▲ 3.3  | ▲ 3.4  | ▲ 2.5  | ▲ 9.9  | ▲ 9.0  | ▲ 24.1 | ▲ 6.3  | ▲ 11.0 | ▲ 12.1  |
| ▲ 業況   | ▲ 13.8  | ▲ 1.1  | ▲ 8.9  | ▲ 1.6  | ▲ 5.6  | ▲ 1.1  | ▲ 5.1  | ▲ 1.2  | ▲ 2.6  | ▲ 16.5 | ▲ 7.5  | ▲ 2.2  | ▲ 2.0   |
| ● 仕入単価 | ▲ 39.4  | ▲ 34.4 | ▲ 20.0 | ▲ 34.9 | ▲ 25.6 | ▲ 29.6 | ▲ 27.9 | ▲ 35.8 | ▲ 47.4 | ▲ 41.8 | ▲ 40.0 | ▲ 37.4 | ▲ 42.4  |
| * 従業員  | 21.3    | 20.0   | 26.7   | 30.2   | 24.4   | 28.4   | 26.6   | 33.3   | 34.6   | 25.3   | 27.5   | 27.5   | 27.3    |

### 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

売上DIは3.7ポイント、業況DIは0.2ポイントマイナス幅が減少した。採算DIは1.1ポイント、仕入単価DIは5.0ポイントマイナス幅が増加した。従業員DIは0.2ポイントプラス幅が減少した。

### 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

|    | 売上(受注・出荷) | 採算    | 仕入単価   | 従業員  | 業況   |
|----|-----------|-------|--------|------|------|
| 4月 | 3.3       | ▲ 3.3 | ▲ 33.0 | 24.2 | 1.1  |
| 5月 | 17.2      | 4.0   | ▲ 36.4 | 27.3 | 11.1 |

先行きは、売上DIは13.9ポイント、業況DIは10.0ポイントプラス幅が増加した。採算DIはマイナスからプラス4.0ポイントに転じた。仕入単価DIは3.4ポイントマイナス幅が増加した。従業員DIは3.1ポイントプラス幅が増加した。

## 【業界から寄せられた主なコメント】

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 建設業   | 塗装工事  | 民間工事が多少上向きになり、活況感が出てきたようである。   |
|       | 総合建設  | 年度初めにつき、官庁発注者、民間顧客とも工事発注が少なく、各社とも発注者からの工事指名を受ける待機中の時期であるが、市場状況としては活況感はあるようである。 |
| 製造業   | 酒造    | 全般的に堅調な動向で、サブ商品に頭打ち感はあるが、メイン商材に関しては輸出を中心に順調である。                                |
|       | 食料品   | 新規得意先は増加しているが、運賃、ガソリン、人件費などの経費が増加し、採算が悪くなっている。                                 |
| 卸売業   | 機械部品  | 各社新年度予算決定により発注を受け始めているが、仕入価格の上昇により利益の圧迫感を感じる。                                  |
|       | 木材    | 仕入価格が上昇しているが、簡単に販価に反映できないので利益が圧縮されている。   |
| 小売業   | 家具・雑貨 | 売上は減少しているが、意識して粗利益率を向上させている。費用を削減して、何とか採算を取りたい。                                |
| サービス業 | タクシー  | 乗務員の減少から売上は減少傾向にある。採算は収入が減少している中で、賃金の見直し及び仕入物品の値上がり影響を及ぼしている。                  |
|       | 給食    | 給食受託の施設数は増えている。売上は上がっているが、食材原価が高く、介護保険の食事負担額は変更されていないため、利益は年々減っている。            |
|       | 不動産賃貸 | 法人の月極駐車場需要では、年初から駐車場の空きについて問い合わせの電話が入るようになった。                                  |